



高松空港に到着



地元の子どもたちと一緒にうどんづくり体験



今治造船所を見学

ぼくは七月三十日が夏休みで一番楽しみにしている日になつていました。それは、香川県丸亀市への研修があるからです。

丸亀市に行つて二日目の今治造船所のことを書きたいと思います。まず今治造船所に車でむかひました。着くと造船所の中でビデオを見ました。そのビデオには「いまとぞう君」という今治造船のマスクコットキャラクターが出てきます。ビデオでは船の作り方を説明して

私が今回の研修で一番思い出に残つたことは、「うどん作り体験」です。城東の子ども会の人たちと作りました。三つの班に分かれて私は五年生の紅葉さんと明莉さんと同じ班でした。城東の人たちは関西弁みたいなしゃべり方をしていました。うどん作りはまず粉を手でねつて袋に入れて足でふみました。ふん、だ感しょくは、ぬめぬめしていく、「うわっ」と声に出して言つてしましました。次に

京極小学校四年
丹野珠璃

京極小学校四年
小出紗羅

京極小学校四年
小杉山政瀬羽

京極小学校五年
坂本明莉

いました。まず計画を立てて、設計をし、材料を集めます。次にブロックを組み立てたり、鉄板を切つたり曲げたりします。そして船ができるたら「進水式」という式があり、海にうかべるのだそうですね。うかべた後は、船の中の設備のとりつけが行われて、最後に試運転、引き渡しがあります。また、お風呂に洗面器をうかべて上から両手で水中に押してみるとぎやくに洗面器を押し上げようとする力が伝わってきます。この力は「ふ力」と言います。このふ力で大き

な船でも海にうかぶことができます。他にも船の豆知識を知りました。超大型タンカーが一度に運ぶ原油の量は、日本の一日の消費量の半分であり、36せき分で東京ドームがいっぱいになります。一せき分の原油からせいせいされたガソリンで普通車を走らせるところを二万五千周以上も回れるそうです。

今治造船所の他にも丸亀城に行つてガイドさんに丸亀城のことを見ました。今治造船所の中では、ビデオでは船の作り方を説明して

な船でも海にうかぶことができます。他にも船の豆知識を知りました。超大型タンカーが一度に運ぶ原油の量は、日本の一日の消費量の半分であり、36せき分で東京ドームがいっぱいになります。一せき分の原油からせいせいされたガソリンで普通車を走らせるところを二万五千周以上も回れるそうです。

今治造船所の他にも丸亀城に行つてガイドさんに丸亀城のことを見ました。今治造船所の中では、ビデオでは船の作り方を説明して

言つていたので行きませんでした。そしてお守りがたくさんありました。金のお守りは一こ八百円で、高かつたので一こしか買いませんでした。ぼくは金比羅さんに行つて思つたことは、京極町のふきだし公園にある階段とはくらべものにならないぐらい階段があるんだないということでした。

私が今回研修で一番思い出に残つたことは、「うどん作り体験」です。城東の子ども会の人たちと一緒に作っていました。三つの班に分かれて私は五年生の紅葉さんと明莉さんと同じ班でした。城東の人たちは関西弁みたいなしゃべり方をしていました。うどん作りはまず粉を手でねつて袋に入れて足でふみました。ふん、だ感しょくは、ぬめぬめしていく、「うわっ」と声に出して言つてしましました。次に

私がなぜこのうどん作り体験が思い出に残つたかというと、うどんを作ったのが初めてで、うどんがおいしかったからです。私がとつてこの三日間はとてもいい思い出になりました。今度また丸亀市に行つてみたいです。

私は今回の研修で一番思い出に残つたことは、「うどんづくり」であります。城東の子ども会の子たちと一緒にやりました。城東の子たちは北海道の言葉とちがつて、しゃべっていた会話がおもしろかったです。うどんを作る前に、丸亀市のうどんは北海道とは違つて、だん力があつて、つゆの味も少しがうと聞いていたので、どうなかなあと思つていました。

うどん作りで、うどんの生地を

た。神社から見える風景はとてもきれいで、建物がたくさんありました。本当はまだ五百段くらいあるけれど、みんな「つかれた」と言つていたので行きませんでした。そしてお守りがたくさんありました。金のお守りは一こ八百円で、高かつたので一こしか買いませんでした。

ぼくは金比羅さんに行つて思つたことは、京極町のふきだし公園にある階段とはくらべものにならないぐらい階段があるんだないということでした。

生き地をのばしました。その時はあまり上手にのばせなくてはじの方だけうすくなつて、真ん中が厚くなつてしましました。うどんを切るときは同じ太さに切ることがでできる機械みたいな包丁があつて、それで切りました。うどんをゆでる時には、竹のぼうでうどんどうどんがくつかないようになぜました。鍋がとても大きくて直径一メートルぐらいありました。湯気がもわつとしていて熱かったです。した。北海道のうどんとはちがつて、ちょっと甘くてだん力があつておいしかったのですが、うどんだけだつたので、天ぷらがほしゅかつたです。あと四年生の政瀬羽さんが横には五センチメートル、長さ十五センチメートルくらいの長さ十五センチメートルくらいの太いうどんをもぐもぐと食べていたので、おいしいのかなあと思いました。私がなぜこのうどん作り体験が思い出に残つたかというと、うどんを作ったのが初めてで、うどんがおいしかったからです。

私がとつてこの三日間はとてもいい思い出になりました。今度また丸亀市に行つてみたいです。

私は今回の研修で一番思い出に残つたことは、「うどんづくり」であります。城東の子ども会の子たちと一緒にやりました。城東の子たちは北海道の言葉とちがつて、しゃべっていた会話がおもしろかったです。うどんを作る前に、丸亀市のうどんは北海道とは違つて、だん力があつて、つゆの味も少しがうと聞いていたので、どうなかなあと思つていました。

うどん作りで、うどんの生地を



京極小学校四年
小杉山政瀬羽



名松百選
千代の傘松
なかごはんじょうくふん
中津万象園内の千代の傘松にて